

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 3月 16 日

公表:平成 31年 3月 28 日

事業所名 ジーニアスキッズ植田校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	棚の位置、高さなどに配慮し、椅子や机をその都度出し入れすることにより、広いスペースを確保している。	
	2 職員の配置数は適切である	2	4	エスケープする可能性のある場合、配置人数を増やしている。	土日など利用者の多い日はもう少し強化していきたい
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になさ	3	3	荷物入れに顔写真を貼って、文字のわからない利用者にも配慮している	障害の特性に応じた配慮が必要
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	清掃、消毒を随時行っている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		日月目標を作成し、作成の仕方をアドバイスしながら実行している。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげ	4	2		常に客観的視点を持ち、業務に取り組む。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、今後事業所の広報誌やホームページ等で公開する
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていく
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	社内での定期的な研修を開いている。外部の研修への参加をしている。	職員向けの研修を行う
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	2		親御さん、スタッフの両方からのアセスメント、モニタリングを元に、計画書を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	5	1		標準化されたアセスメントツール(ものさし)を作成(用意)する。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容	4	2		発達支援、家族支援、地域支援の項目を計画書にわかりやすく盛り込む。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	設定された目標に対して各スタッフが意識を持つようチームで話し合うことを意識して、立案の時間をきちんと集まれるようにしている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	プログラムに関するミーティングを行っている	個人の特性に合わせたプログラム、カリキュラムの作成
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1		個別は主に排泄や、身辺自立として、集団活動はコミュニケーション、良好なお友達関係の構築、という項目で適宜組み合わせ計画書を作成している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	必ず行っている。出勤の時間が違うスタッフには必ず伝達している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0		支援の振り返りは行っているが、次に繋がるように記録を残すようにする。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	スクールには振り返りシートを付け、記入をしている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	担当だけでなく、全員に確認するようにしている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	管理者が出席することとしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っていく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	4	該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	4	該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図るよう働きかける。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報提供は可能である
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言を受けている。顔の見える関係が出来ており、都度情報交換を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が	4	2	保護者からのニーズがあれば、行うことは可能。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2	会議には積極的に参加し、情報を得ている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	送迎時に様子を伝えたり、家での様子を伺ったり、都度行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	5	1	困りごとの相談を受けている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約時に必ず行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を	5	1	モニタリング、面談、支援会議を行ったうえで作成したものを、サイン、きちんと説明をし同意を得た上でサイン印をもらっている。修正があれば速やかに対応している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	送迎時等、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	正月に餅つきを行い、父母に参加をして頂き、セミナーを開催して、父母会を行った。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	相談、申し入れについては、上長に確認するとともに具体的に対応するよう、迅速に動いている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	情報共有ができています
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	1	個人情報は鍵付きの書庫へ保管し、第三者に知られることがないように十分な配慮をしています
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	個々に対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	地域交流イベントを検討。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を職員や保護者に周知する。災害発生を想定した訓練を継続実施する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	6	0	指示書に基づき行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	なぜなぜを作成し、会議することにより対応できている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をする。(不可抗力の事案も含め)
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載をする

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。